

2018 年

11月24日(土)

太陽ホール(小松電機産業内)
開場:12:30 ~

動画上映 13:00 ~

小松電機産業・人間自然科学研究所 活動のあゆみ、出雲から陽が昇る、中国新書出版発表披露

開式挨拶 13:40 ~

講演 13:45 ~

「第一次世界大戦終結から 100 周年を迎え、戦後の平和とは」

イップ常子氏

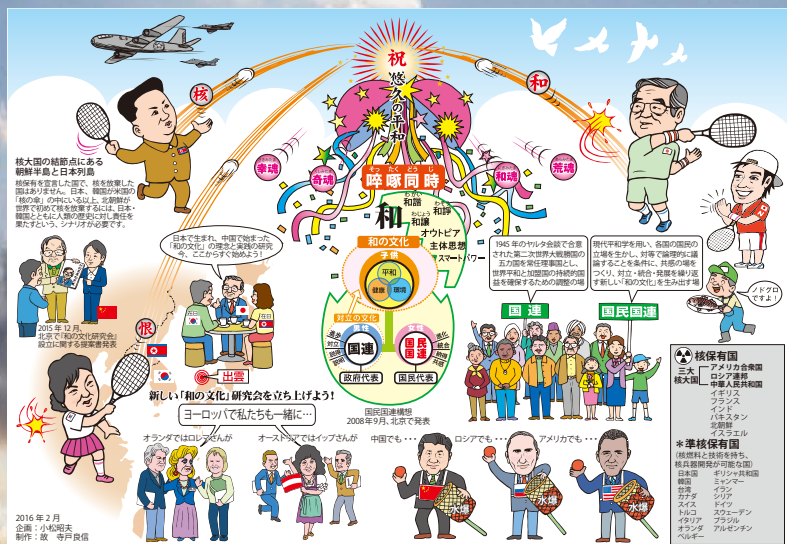
1973 年ウィーン大学に留学。1974 年に結婚し、3 人の子供たち家族と 5 人の孫たちに囲まれウィーン在住 45 年。2001 年オーストリア公認国家ガイド資格取得。オーストリアと日本の懸け橋として、主に相互の文化交流イベントをはじめ、オーストリア国内、ドイツ、チェコ、ハンガリー、スロバキア、スロベニア、クロアチアなど近隣国への観光案内、通訳に従事。2009 年ロングステイ・オーストリア社設立。2010 年~ 2017 年までオーストリア・ウィーンに関する講演を日本各地で 80 回以上開催。

座談会 14:45 ~

小松昭夫、イップ常子、小林忠夫、石倉憲昭、磯江公博
中村 新一郎、佐野馨、小松泰夫、佐藤京子、交易場修、魏亜玲

記念撮影 16:00 ~

閉会 16:10



2019年2月16日(土)

シンポジウム開催

- (午前) 9:00 ~ 12:00
小松社長講演
パネルディスカッション(4名)
小松電機産業 表彰式
- (午後) 13:00 ~ 16:00
小泉純一郎元首相 講演
- (夜) 松江の複数のお店でレセプション

関連書籍



ベートヴェン交響曲第9番

1914 年 7 月 28 日から 1918 年 11 月 11 日にかけて、連合国(イギリス・フランス・ロシア・日本など)対中央同盟国(ドイツ帝国・オーストリア=ハンガリー帝国・オスマン帝国・ブルガリア王国)の戦闘により繰り広げられた第一次世界大戦。日本で初めてベートヴェンの「交響曲第9番」が全曲演奏されたのは、鳴門市の板東俘虜収容所内でドイツ兵捕虜によって、1918 年 6 月 1 日にアジアで初めて演奏された。

竹島の日について

明治 38(1905) 年 2 月 22 日、日露戦争の最中に政府の閣議決定を受け、島根県知事より竹島の島根県編入が告示された。100 年後の 2005 年島根県議会が「編入 100 周年」を期して「竹島の日」条例を可決した。これにより日韓関係の対立問題が起こっている。

参加申込

メール(staff@komatsuelec.co.jp)もしくはFAX(050-3161-3846)にてご連絡ください。
お問い合わせ先: 小松電機産業株式会社 TEL(050-3161-2490)

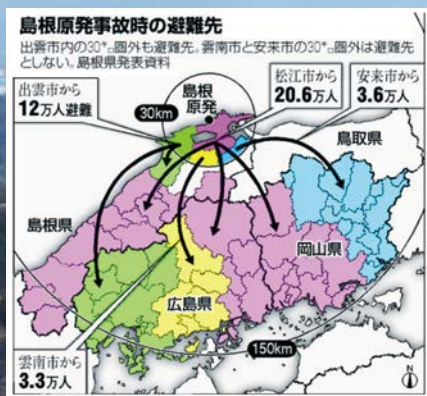


小松電機産業株式会社
http://www.komatsuelec.co.jp

人間自然科学研究所
http://www.hns.gr.jp



日本最大・世界最新鋭 3号炉を動かさず 千年の観光資源に



島根原発防災センター・県庁・市役所・松江市街地は 8km、人間自然科学研究所は 12km 圏内

目次	
人間自然科学研究所の歴史	3
イノベーション 新結合	4
書籍 島根核発電所のご紹介	5
世界縁結びの地 健康寿命の聖地を目指して	6
日本の戦争一覧	7
中国出版書籍添付資料	10
内外情勢調査会会報誌 11 月号 小松社長インタビュー	12
3 月 21 日「日本と再生」映画上映・ズットナー像出発式チラシ	16
2018 年 2 月 23 日日本海新聞磯江さんコラム「脱原発エネルギー時代」	18
2018 年 6 月 15 日朝日新聞掲載「イノベーション政策 政府は主導より対処を」	19
2018 年 7 月 28 日山陰中央新報掲載「原子力政策に住民意思を オーフス条約知って」	20
2018 年 8 月 2 日山陰中央新報掲載「3 号機はダツ原発記念碑に」	
島根大学小林教授「出雲神話と医薬・看護」プレゼンテーション	21
第九の聖地徳島	30



人間自然科学研究所

2018

- ベルタ・フォン・ズットナー像が韓国へ出発
- 書籍島根核発電所を無料電子書籍化
- 島根ものづくりフェアにおいてはタイ王国工業省産業振興局のパヌワット様一行を迎え、小松社長発案で島根原発問題と大橋川改修問題について約 6000 名の来場者に向け発信
- 日中友好条約締結 40 周年記念にあわせ中国・東方出版社から「一隅を守り千里を照らす 小松昭夫の経営の道」と「経営理念手帳」を出版

2017

- 島根原子力発電所国際プロジェクト構想発表・座談会開催
- ハワイ・アリゾナ記念館訪問、献花、寄付
- 国際二戦 80 周年博物館長フォーラムで構想・提言を磯江公博監事が代読
- 韓国・ハルパート博士 68 周忌追悼式で尹熙竣代表理事が代読
- 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム開催

2015

- 「日英対訳 悠久の河」「天略」「島根核発電所」出版
- 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム開催
- 中国・学苑出版社より「対立から共生へ」出版

2014

- オーストリア・ウィーンでベルタ・フォン・ズットナー没後 100 周年記念事業で平和大賞を受賞
- ズットナー像をウィーン平和記念館に半年間展示・寄付
- 松江市八雲町に周藤彌兵衛翁像仮設建立
- 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム開催

2013

- オランダ・ハーグ「カーネギー平和宮 100 周年」記念事業「世界平和事業家 20 人」に小松理事長が選ばれ式典に出席

2011

- 「朝鮮半島と日本列島の使命」出版
- アジア太平洋平和研究学会で講演

2009

- 「中国古典名言録」「竹島＝独島問題入門」出版記念講演
- 混迷の時代 出雲から陽が昇るシンポジウム開催

2008

- 第 6 回国際平和博物館会議、京都・広島開催協賛
- 松江で出雲と譲フォーラム開催

2007

- 中国山東省東萊市から贈呈されて孫子像を燕趙園に建立

2006

- 燕趙園に西王母と八仙人大理石像を紹介建立
- 平和環境健康特別区申請シンポジウム開催
- 韓国・釜山市庁国際会議場で公園
- 出雲大社で神有月和譲平和フォーラム開催

2005

- 中国南京記念館訪問、献花
- ハワイ・アリゾナ記念館、真珠湾攻撃記念式出席、献花

2003

- 日本最大の中国庭園「燕趙園」に孔子・孟子像を建立

2002

- 中国山東省棗荘・台児荘大戦記念館で中国側 3000 人日本側 40 人で孔子・孟子・周藤彌兵衛翁・清原太兵衛翁の銅像完成出発式を行う
- 日中英対訳「論語」出版

2001

- 中国人民抗日戦争記念館訪問・献花

1999

- 第 3 回神有月縁結び世界大会開催

1998

- 大韓赤十字社を通じて朝鮮民主主義人民共和国へ食料支援

1997

- 韓国独立記念館訪問、日本人として初めて献花、寄付
- 第 2 回神有月縁結び世界大会開催

1995

- 周藤彌兵衛シンポジウム開催

1994

- 人間自然科学研究所設立
- 郷土の偉人を顕彰する出版活動「一村一志」運動を開始
- 第 1 回神有月縁結び世界大会開催

1988

- 若手経営者 20 名で「知草塾」開塾



2018 韓道に向けてズットナー像出発式開催



2017 ハワイ・アリゾナ記念館訪問、献花



2015 韓道・慰安像とズットナー像



2014 八雲立つ出雲から陽が昇るシンポジウム開催



2013 オランダ・ハーグ世界平和事業家 20 人式典



2009 混迷の時代 出雲から陽が昇るシンポジウム



2006 燕趙園に西王母と八仙人建立



2006 平和環境健康特別区申請シンポジウム



2003 燕趙園に孔子・孟子像建立



2001 中国人民抗日戦争記念館訪問、献花



1998 韓国独立記念館訪問



1995 周藤彌兵衛シンポジウム



2018 日中友好条約締結 40 周年記念にあわせ中国東方出版社より小松理事長の書籍を出版



2017 ハワイ 名誉館長小松千恵子氏とアルフレッド・K・ロドリゲス氏の握手の様子



2014 オーストリア・ウィーンズットナー像贈呈、貸出、寄付



2014 松江市八雲町に周藤彌兵衛翁像仮設建立



2013 オランダ・ハーグ平和宮 100 周年記念事業カーネギー賞と共に



2007 燕趙園に孔子像建立



2006 出雲大社・神有月和譲平和フォーラム



2005 ハワイ・アリゾナ記念館訪問、献花



2002 中国・台児荘大戦記念館で銅像出発式



1998 朝鮮民主主義人民共和国へ食料支援



1997 第 2 回神有月縁結び世界大会



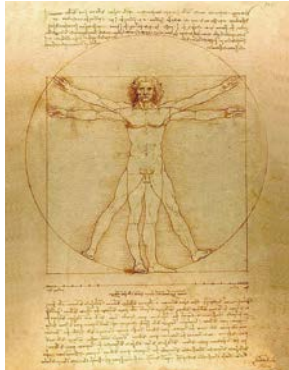
1994 第 1 回神有月縁結び世界大会

イノベーション 新結合

I n n o v a t i o n

フィロソフィー 哲学
Philosophy

メカニカルアート 技術
Mechanical Art



レオナルド・ダ・ヴィンチ
(1452 ~ 1519)

イタリアのルネサンス期を代表する芸術家。音楽、建築、数学、幾何学、解剖学、生理学、動植物学、天文学、気象学、地質学、地理学、物理学、光学、力学、土木工学など様々な分野に顕著な業績と手稿を残した。科学的創造力の面では、ヘリコプターや戦車の概念化、太陽エネルギーや計算機の理論、二重船殻構造の研究、さらには初步のプレートテクトニクス理論も理解しており、人類史上最も多才な人物であると考えられている。



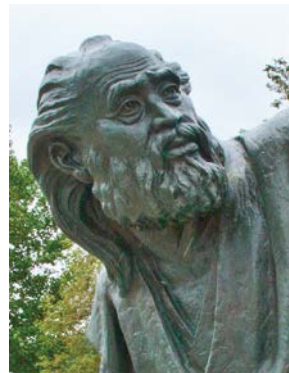
墨子
(紀元前 470 ~ 390)

中国戦国時代に興った思想家集団「墨家」の始祖。諸子百家の一つとされ博愛主義（兼愛交利）を説き、その独特の思想に基づいて、武装防御集団として各地の守城戦で活躍した。墨子が九回に亘って楚の攻撃から宋の城を守り通したという故事から、古い習慣や自説を頑なに守ることを「墨守」というようになった。



西周
(1829 ~ 1897)

江戸時代後期から明治時代初期の日本の哲学者、教育家、啓蒙思想家、幕臣、官僚。石見国津和野藩（現・島根県津和野町）の御典医の家柄、漢学の素養を身につける他、天保12年（1841年）に藩校・養老館で蘭学を学んだ。明治6年（1873年）福沢諭吉らと共に明六社を結成し、啓蒙家として西洋哲学の翻訳・紹介等、近代思想を広く普及させた。また「philosophy= 哲学」「Mechanical Art= 技術」など多くの哲学・科学関係の訳語を考案した。森鷗外は従甥にあたる。



周藤 彌兵衛
(1650 ~ 1752)

二宮尊徳翁が生まれる50年前に治水を成し遂げた偉人。日吉村（現・松江市八雲町）を流れ、洪水を繰返す暴れ川であった意宇川を、56歳にして一念発起し、岩山の剣山を切り抜き、川の流れを変える工事に取りかかった。42年後、97歳にして「日吉切通し」を完成させ、意宇川の流れを変えることに成功した。102歳で大往生をとげた。

日本は(昭和20年)8月15日を終戦記念日と定めました。

来年は平成から新しい年号に変わります。人類の戦争を終わりにすることを国是と定め、その日を人類の終戦記念日にすべく、その先駆けを島根・鳥取・沖縄が務めることをここに提言します。

日本国憲法 前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

島根核発電所 原発 その光と影



原子力発電が安全ならもっと電力を消費する
都市部の中心に設置しないのですか

ノーベル物理学賞受賞者は語る。
「科学者から見れば、原発は商業ベースに乗っていない技術です」



島根原発防災センター・県庁・市役所・松江市街地は8km、人間自然科学研究所は12km 圏内

定価 / ￥4,500- (税別) 発行日 / 2015年9月2日
著者 / 山本 謙 編集 / 古浦 義己 企画 / 小松 昭夫

書籍はホームページから無料でご覧いただけます
右のQRコードからホームページをご覧ください



発刊にあたって

ニュークリアプラント (Nuclear Plant) を直訳すれば核プラントとなり核爆弾が連想されます。政府はメディアを通じて、安全平和を連想する原子力発電所と呼ぶよう誘導し今日に至っています。(2015年4月19日毎日新聞掲載、共同通信 村上春樹氏インタビュー参照)。

国連を表すユナイテッドネーション (United Nations) を直訳すれば、日本が枢軸国として戦った連合国になります。朝鮮戦争中に結ばれたサンフランシスコ講和条約の発効 (1952年) により独立した後、東西冷戦が深刻化するなか“連合国加盟”活動を、“国連加盟による国際社会復帰”と言い換え、国民に抵抗がないよう誘導されました。日本は1956年、80番めに加盟しましたが、今でも敵国として位置づけられています。

こうした言い換え文化による集団の誤謬が、世論が理解できない本質的な国際摩擦の原因になるおそれが高まっています。

明治の日本は和魂洋才ではなく、脱亜入欧を選択し、欧米の技術を短期間で吸収、アジアで最も早く産業革命を成し遂げました。しかし本質の追求と、論理的な議論を避ける、受け身の文化が蔓延し、近隣諸国との軋轢の遠因にもなっています。

松江の文化を「日本の面影」と捉え、初めて近代日本を西洋に伝えた小泉八雲は、日清戦争の勝利を祝う提灯行列を見て、国民が傲慢になっていく姿を感じ取り、未来の悲惨を案じ、開かれた精神「オープンマインド」の重要性を指摘しています。

その後、国内外に惨禍をもたらす軍国主義が蔓延、戦争の時代が続き原爆投下を経て、1945年8月15日無条件降伏しました。東西冷戦下、繁栄の時代もありましたが、2011年3月、閉塞感が漂う中、東日本大震災と福島原発事故が起きました。4年を経た今でも、崩壊した核燃料を回収する見通しが立たず、住民避難、広範囲に及ぶ健康不安など困難な状態が続いています。

大国間の緊張と日本をめぐる歴史問題が深刻化する極東において、日本が世界に果たす役割を模索するなか、本年は特に憲法と、原子力発電所のあり方が活発に議論されています。東洋のベニスとも称される国際文化観光都市、県庁所在地松江市は福島原発事故を契機に、原発国産1号、普及機の2号、日本最大出力の3号の、3機の15キロ圏内にある現実を認識せざるを得ません。こうした状況のなか松江城が、神魂神社、出雲大社に続き、島根県で三つ目の国宝建造物に指定されました。

原爆投下を命令したトルーマン大統領は、原子力を「太陽から引き出された力」と発表しました。宍道湖の夕日美しいこの街で、人類がつくった「三つの太陽」は停止しています。歴史は、太陽が沈んだ夜に作られるといひます。出雲は南方・北方・大陸・半島からの出会いを生かし、悠久の昔から困難な状況を受け止め、新たな価値を創造する縁結びの地といわれています。

2015年は戦後70年の節目にあたります。本書は「悠久の河 須藤彌兵衛翁物語 (村尾靖子著)」と同じく9月2日に発行しました。この日を、アメリカ、ロシアなどでは、第2次世界大戦の対日戦勝記念日 (V-JDay) と呼び、中国は翌日の9月3日を「抗日戦争勝利記念日」としました。いまこそ八雲立つ出雲でラフカディオ・ハーンを蘇らせ、共感、対立、統合、発展が循環する「新しい和の文化」を生みだし、地方創生の先駆けを務めようではありませんか。

2015年8月15日

一般財団法人 人間自然科学研究所

理事長 小松 昭夫

世界縁結びの地 健康寿命の聖地を目指して

飛行機・観光列車ネットワーク



*** 日本の戦争 ***

文責： 有川晴彦

1890 **教育勅語**（明治23年）1894 **【日清戦争】**（明治27年）1895 **下関条約と三国干渉**

- ・韓国をめぐる争いが発端
- ・日本が勝利して清国（満人）は莫大な賠償金を
- ・台湾が日本領に

1900 **義和団の乱**で日本含む列強の軍隊が中国駐屯開始1902 **日英同盟**（～1923）1904 **【日露戦争】**（明治37年）1905 **ポーツマス条約**

- ・義和団の乱以降、ロシア軍は満州（今の中国y東北部）に駐屯。次は韓国を…
- ・ロシアの日本海側の都市**ウラジオストク**は「東を征服せよ」が語源
- ・日英同盟でイギリスが日本を支援：武器供与と軍事顧問（**参考**ep43）
特に日本海海戦の英国海軍の支援は絶大。
なぜ、英国は日本をそこまで支援したか？
- ・日本もロシアも、この戦争でたいへん疲弊した
（日露双方に、国際金融資本が支援。その矛盾する目的は？）
- ・日本はロシアより、南樺太と**満州租借権**を獲得（**参考**ep44）
（これが後の戦争の遠因となる）

1905 例：**桂・ハリマン協定**を日本側が一方的に破棄（**参考**ep45）

1910 韓国併合（日本の植民地なのか？）

1914 **【第一次大戦】**（大正3年～1918）1919 **パリ講和会議**

- ・日英同盟のもと日本も出兵。中国山東省などでドイツに勝利し権益を拡大

1922 **ワシントン会議**1923 **日英同盟終了**1924 **排日移民法**がアメリカで成立

1928 ドイツから中国に武器輸出と軍事顧問

1929 世界的**経済不況**（当時日本ではアメリカ型**自由主義経済**が一般的）1930 **ロンドン海軍軍縮会議**1931 **【満州事変】**（昭和6年9月）

11月 中国共産党が対日宣戦布告

（背景）当時、満州（今の中国東北地方）は、政治的な空白地帯

（満州は万里長城の北にあり、もともと中国ではない）

（背景）ソ連も満州を虎視眈々と狙う（日露戦争前はロシアが実際進出していた）

（背景）辛亥革命以前の孫文と日本との密約とは何か

《中国王朝の推移》

隋 → 唐 → 五代十国

→ 宋 → 金 → 南宋

→ 元 → 明 → 清

上記で、金と清は満州からの、
元はモンゴルからの侵略王朝

1616 長城の北から満人が侵略

明を滅ぼし、清を建国

1637 朝鮮、清に服属

ラフォコンス（明の末裔）の暗躍

（日本の公卿N家との間柄）

（日本からゴールドの流出）

1840 **阿片戦争**1911 **孫文**の尽力で**辛亥革命**

宋氏三姉妹は重要：

宋霭齡・宋慶齡・宋美齡

1912 清国（満人）滅亡

中華民国（漢人）建国その後、**国民党**政府

中独合作開始

（ドイツが中国を援助）

1917 **ロシア革命**1919 **コミンテルン**結成

↓支援

1921 **中国共産党**が誕生**毛沢東**が主導

1922 共産主義国家・

ソビエト連邦誕生

1924 第一次国共合作

1925 **蒋介石**が国民党の実権を1937 第二次**国共合作**

(清王朝はもともと満州人であり、中国への侵略者)

- ・ 日本陸軍の関東軍が柳条湖事件をきっかけに軍事行動開始。(主導：[石原莞爾](#))
- ・ [満州国](#)が建国される。皇帝は清国(満人)の廃帝・溥儀(ふぎ)
- ・ 日本人・漢人・朝鮮人・満洲人・蒙古人による「五族協和」を掲げた。

↑支援

1938～ [米英仏の援蒋ルート](#)

[ルーズベルト](#)アメリカ大統領の
[ニューディール政策](#)

1933 日本が国際連盟脱退(これで軍備増強に専念可能)

1936 二・二六事件([神々の軍隊—三島由紀夫、あるいは国際金融資本の闇](#))

1940 [汪兆銘](#)が南京に親日政府

中国は戦後、国民党と共産党の内戦

1949 [中華人民共和国](#)建国

[中国共産党](#)([毛沢東](#))政府

国民党(蒋介石)は台湾逃亡

1937 【日中戦争(支那事変)】(昭和12年)

(正式に宣戦布告=戦争となったのは日米戦争開始後)←重要!

『[日中戦争—戦争を望んだ中国、望まなかった日本](#)』

(PHP) 北村 稔・林 思雲(共著)

07/07 [盧溝橋事件](#)

(誰が夜間演習中の日本軍、国民党軍に銃弾を放ったか)

(いったん事態は収まり不拡大方向に。ところが…)

07/29 [通州事件](#)(日本人居留民が数百名虐殺される：[体験談](#))

08/13 [第二次上海事変](#)のため、戦局は拡大(中国側が仕掛けた点に注意)

(必見!：[当時のニューヨークタイムズ記事](#))

同年12月 [南京事件](#)について：[資料1](#)・[資料2](#)・[資料3](#)

1938 国家総動員法成立→[40年体制](#)(戦後の日本型資本主義の原型)

11月に「東亜新秩序」声明⇒翌年2月国民党に米から2500万ドル

1939 1月 アメリカが通商条約破棄を通告(翌年条約失効)

9月 ドイツがポーランド侵攻

★推薦図書：

『[侵略の世界史](#)』

『[赤い楯](#)』 抜粋copy

『[日中戦争](#)』

『[操られたルーズベルト](#)』

『[真珠湾の真実](#)』

『[大東亜戦争「敗因」の検証](#)』

1940 6月 ドイツがパリを陥落。日本ではゾルゲ事件発覚。(日本南進決定)

9月 [日独伊三国同盟](#)

「大東亜共栄圏」構想⇒翌年、国民党に米1億ドル・英1千万ポンド

対日禁輸の[ABCD包囲網](#)が進行、在米日本資産凍結方向へ

1941 4月 [日ソ中立条約](#)

6月 ドイツがソ連に侵攻、世界大戦へ

7月 南部仏印(現在ベトナム)進駐(by 海軍第一委員会の決定)

8月 対日石油全面禁輸

[空母百隻建造計画](#)がアメリカ議会で承認

11月 [ハル・ノート](#)を対日最後通牒と解釈

1941 【太平洋戦争(大東亜戦争)】(昭和16年)

12月8日 真珠湾攻撃 大勝利

10日 マレー沖海戦大勝利(英戦艦プリンス・オブ・ウェールズ撃沈)

『[操られたルーズベルト—大統領に戦争を仕掛けさせた者は誰か](#)』

カーチス・B. ドール(著), 馬野 周二(翻訳)

・ [日米戦争開戦時戦力比較](#) (空母10:3、どちらが日本?)

・ [真珠湾の真実・第8章抜粋](#) (出典：[真珠湾の真実—ルーズベルト欺瞞の日々](#))

(真珠湾の半年前からアメリカは空母百隻建造計画を実行!…つまり?)

真珠湾攻撃ビデオ：

http://www.kyoto.zaq.ne.jp/ark/_video/PearlHarvor.wmv

(もし第二波の攻撃があったら?)

ハワイ国王の訪日ビデオ：

http://www.kyoto.zaq.ne.jp/ark/_video/HawaiiJapan.wmv

(国王の望みはハワイ解放。ではこの時どうすれば?)

・ [大東亜戦争敗因の検証・序](#) (出典：[大東亜戦争「敗因」の検証—「帝国海軍善玉論」の虚像](#))

(陸軍暗号は解読不可能だったが、海軍暗号は殆ど解読されていた。なぜ?)

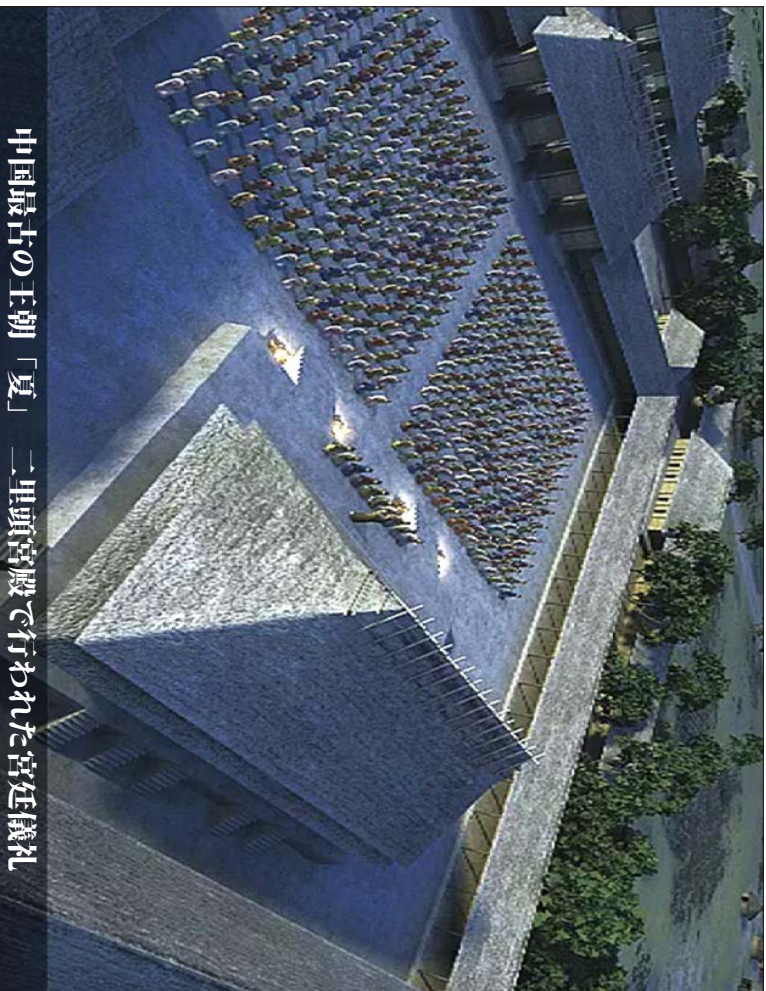
- 1942 蘭領東印（現インドネシア）を10日で占領するなど各地で大勝利
 6月5日 ミッドウエー海戦で大敗北
 8月8日 第一次ソロモン海戦で大勝利、ところが輸送船団を放置
 10月13日 ガダルカナル米飛行場を艦砲射撃（中途半端！な攻撃）
 10月26日 南太平洋海戦。米稼動空母がゼロに！
 12月31日 ガダルカナル島撤退決定（ガ島米飛行場が主因）
 1943 4月 山本五十六長官戦死
 5月 アッツ島の日本軍が初の「玉砕」
 9月 イタリア降伏
 1944 6月 マリアナ沖海戦で大敗北（日本空母9→6、米空母15）
 7・8月 サイパン・グアム島を米軍が制圧（日本本土空襲が可能へ）
 10月 レイテ沖海戦で初の神風特攻（日本空母4→0、米空母35→32）
 1945 2月 硫黄島に米軍上陸（米空母百隻建造計画は順調）
 3月10日 東京大空襲
 3月13日 大阪大空襲
 3月26日 沖縄戦開始（～6月23日）
 5月9日 ドイツ降伏
 7月26日 ポツダム宣言（日本「軍」の無条件降伏を勧告）
 8月6日 広島に原爆（ウラン型）
 8月9日 ソ連が中立条約を破り侵攻開始
長崎に原爆（プルトニウム型）
 15日 終戦（玉音放送）
 9月2日 戦艦ミズーリで降伏調印
 （占領軍GHQの最高司令官はマッカーサー）
 1946 東京裁判（パール判事だけが日本人被告の全員無罪を主張）
 1951年マッカーサーの証言：「日本の戦争は“生存”のためだった」

戦後、欧米の植民地のほとんどが、アジアを中心に独立を果たす

- ※ 欧米の植民地と、日本の台湾・韓国統治との相違点を考えてみよう
- ※ 植民地権益の多くを失った欧米支配層は、日本をどのように思っただろう？
- ※ 大戦に「辛勝」して日本を占領後、彼らは日本をどう変えようとしただろう？

- 戦後～1956 シベリア抑留（70万人以上の日本兵捕虜がソ連で強制労働させられた）
 1950～1953 朝鮮戦争
 1951 サンフランシスコ講和条約（日本の主権回復）
 1957 中国帰還者連絡会結成
 1965～1975 ベトナム戦争

参考資料：世界史年表



中国最古の王朝「夏」二里頭宮殿で行われた宮廷儀礼



古代医学の発祥地 意宇＝於宇＝鳥兜（トリカブト）

「意宇」は毒草鳥兜（トリカブト）の古代名「於宇」と重なる。漢方で極めて重要な薬草トリカブト、先進バイオ技術を用いて猛毒から薬にしたハイテク医薬人集団がいたことから「意宇郡」と名付けられた可能性がある。

写真は現在の剣山切通し（松江市八雲町日吉）

○-----○ 剣山所形 ○○○○○ 剣岩範囲

周藤彌兵衛 1650～1752 / 松江市八雲町 270×280×170(cm)

56歳一念発起、堅い安山岩の剣山をノミと槌で切り崩し97歳「剣山切通し」完成。意宇川の流れを変え洪水から村を救い102歳大往生。陸軍松江六三連隊を含む日本軍と中国軍に甚大な被害が出た国共合作の激戦地（中国山東省台兒荘）で米国製青銅で銅像制作。2014年8月1日水の日に戦地に赴く若者を見送ったイササミ御凌前に建立。



鑽火殿

本殿・拝殿



銅剣

銅矛

熊野大社

松江市八雲町

島根県松江市八雲町にある神社 火の発祥の神社として「日本火出初之社」（ひのもとひでぞめのやしら）とも呼ばれ、出雲大社と共に出雲国一宮である。

荒神谷遺跡出土品

出雲市大社町

1984年銅剣358本、1985年7m離れた地点で銅鐔6個、銅矛16本の青銅器が出土、1998年国宝に指定された。



中国秦荘台児荘大戦記念館 訪問・献花・寄附・銅像制作 2002年9月

国民党と共産党の国共合作の地「秦荘・台児荘」で孔子、孟子、郷土の治水の偉人・周藤弥兵衛翁、清原太兵衛翁の4体の銅像を製作。中国山東省政府の絶大な支援により中国側3000名、日本側40名の参加者で、日本国島根県松江市へ銅像出発、2003年にわたり放送され、新聞に掲載される等、大きな反響が鳥取県にある日本一の中国庭園「燕趙園」へ孔子、孟子像建立。その後2006年西王母と八仙像、2007年孫子像建立。



南京大虐殺記念館訪問・献花

2005年9月

38名の第7回中国訪問団を結成し、南京大虐殺記念館を訪問、犠牲者を追悼、献花。中華人民共和国駐日本国大使館のホームページや中国国営放送中央電視台で3回本則40名の参加者で、日本国島根県松江市へ銅像出発、2003年にわたり放送され、新聞に掲載される等、大きな反響が鳥取県にある日本一の中国庭園「燕趙園」へ孔子、孟子像建立。その後2006年西王母と八仙像、2007年孫子像建立。



真のイノベーションが初まる
人間自然科学研究所

<https://www.hns.gr.jp/>
右記のQRコードからホームページをご覧ください



一般社団法人内外情勢調査会

会報誌

November 2018
Vol. 140

11

2018年(平成30年)
10月25日発行(毎月1回25日発行)
第12巻第8号(通巻140号)

J²TOP
The Research Institute of Japan

■内外情勢調査会 全国懇談会【講演抄録】

珍惜机遇, 走好中日关系新航程

(チャンスを大事に、中日関係の新たな航路を進もう)

程永華

駐日中国大使

■内外情勢調査会 長崎3支部合同懇談会【講演抄録】

夢をかたちに

～生きがいと活力、潤いのある長崎県を目指して

中村法道

長崎県知事

■寄稿

諦める災害と乗り越える災害

内外情勢調査会講師

福和伸夫 名古屋大学減災連携研究センター長・教授

■会員登場

小松電機産業株式会社

[松江支部]



- 4 **【講演抄録】**
 内外情勢調査会 全国懇談会 (2018年9月11日開催)
**珍惜机遇，
 走好中日关系新航程**
程永華 駐日中国大使



- 8 **【講演抄録】**
 内外情勢調査会 長崎3支部合同懇談会 (2018年9月27日開催)
**夢をかたちに
 ～生きがいと活力、潤いのある長崎県を目指して**
中村法道 長崎県知事



- 10 **News & Column 時事通信から**
 和牛、豪州へ17年ぶり輸出再開／さようなら築地市場



- 13 **寄稿**
諦める災害と乗り越える災害
 内外情勢調査会 講師 福和伸夫 (名古屋大学減災連携研究センター長・教授)



- 16 **会員登場**
小松電機産業株式会社 [松江支部]
 八雲立つ出雲から真のイノベーションを追求
 全国・世界に広がる三つの事業を創造

- 18 「ゲスト会員制度」対象支部一覧 (2018年11月)
 21 **information** 時事世論調査／内外情勢調査会のお知らせ
 22 **自治体アンテナショップめぐりー④④**
千葉県 共同販売拠点「まだあ～るちば」

●今月の表紙は
「紅葉からのたき火」

紅葉を見たら風に舞う紅い葉から落ち葉を連想し、子供の頃のたき火を思い出した。庭木の葉でなく稲わらのたき火。近所に田んぼが多く稲の収穫後はたき火をしていた。芋を焼くところは同じ。秋です。
 写真／渡瀬啓一郎

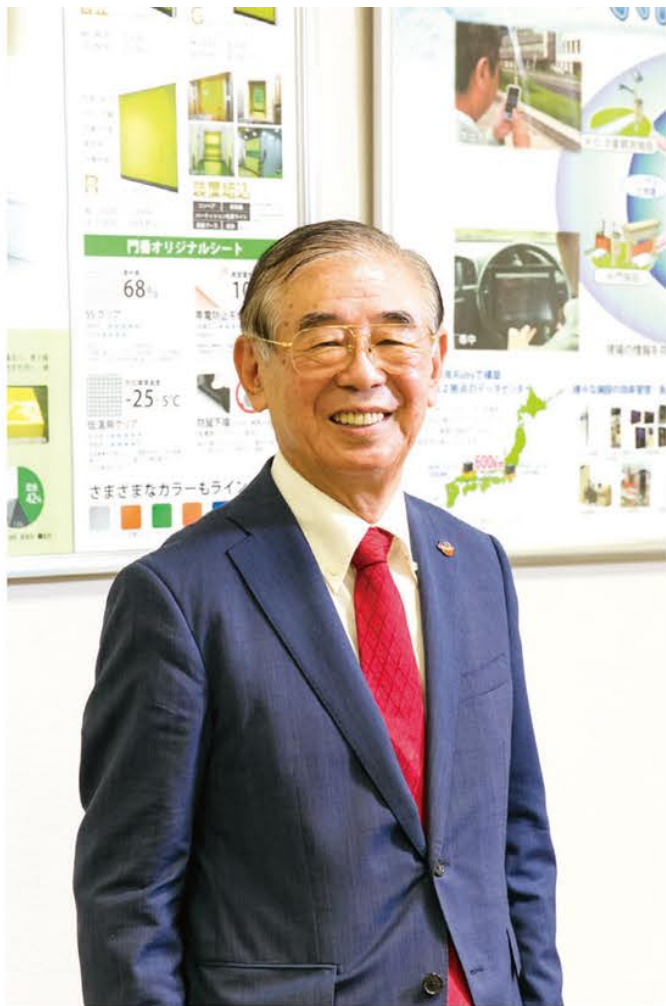


月刊J²TOP (ジェイツウトップ)
 2018年11月号 (2018年10月25日発行)
 Vol.140
 編集・発行・発売：時事通信社
 〒104-8178 東京都中央区銀座5-15-8
 Tel.03-3524-6963
 編集協力：一般社団法人内外情勢調査会
 時事通信出版局
 印刷・製本：太平印刷社
 定価：(本体1,500円+税)

八雲立つ出雲から真のイノベーションを追求 全国・世界に広がる三つの事業を創造

◎文／本誌編集部
◎撮影／西尾優一（吉田写真堂）

小松電機産業株式会社「松江支部」



小松電機産業株式会社代表取締役、人間自然科学研究所理事長の小松昭夫氏

逆境から生まれた二大ヒット商品

鳥根県と鳥取県にまたがる「中海」、日本百景にも選ばれている、宍道湖畔の水の都、国際文化観光都市・松江。グローバル時代の地政学を研究し、リスクを分析かつ生かし、独創的な構想力で全国・世界に広がるマーケットを創造してきたベンチャーの雄とも言われる会社がある。

工場の出入り口・間仕切りに利用されるシートシャッターと、クラウド時代を先取りした総合水管理制御システムで、全国展開を行ってきた小松電機産業株式会社だ。

1973年、代表取締役の小松昭夫氏が、勤務先の倒産を契機に弟の光雄氏（常務取締役）と二人で八雲村（現・松江市）の生家の納屋から起業。土木・下水用ポンプの修理、工場自動化の電

気制御で創業し、電気工事・土木建築業界の過酷な因習に耐え、配分電盤の製造、上下水道計装へと業容を拡大した。だが、85年広島県境、赤来町発注の水道計装案件で決定的ないじめが表面化し、売り上げの7割を占める電気工事業界向け配分電盤の受注が激減した。

「倒産が噂され、社員の6割が辞める危機に見舞われた」と、小松氏は当時を振り返る。

しかし、急ごしらえながらも80年に完成した山陰の冬の寒さを防ぐ高速シートシャッター「門番」が全国販売に向け地元の協力者を得て生産を開始。物流体制も構築し、新たな発展への業態を整えた。

シートシャッターとは、人や車両を感知し、ビニール製のシャッターが瞬時に自動開閉する扉で、防寒・防風・防塵・防音性に優れ、現在では工場や倉庫の出入り口・間仕切りに広く使われる。その一方で食品の安全、防虫・衛生管理の面からも注目が集まっている。

「当時は『手動扉、工場用自動ドア、ビニールのれん』が使われていた時代。フォークリフトの普及により、『門番』は、自動車業界をはじめ、あらゆる分野で受注が増えていった」という。

その後、安全性、耐久性、スピード、

密閉性、静粛性等の改良を重ね、一時は国内シェア70%を占める大ヒット商品に成長した。

市場創造に成功したことから、1991年中小企業研究センター賞、ニュービジネス大賞、2012年国土交通大臣賞、経済産業省ものづくり日本大賞などを受賞。さらに（社）シャッタードア工業会にシートシャッター委員会が設けられ、小松氏は10年間初代委員長として大手各社をまとめ、構造・安全・メンテナンス基準を作り、業界として初のエコマークの認定も獲得した。そして日系企業のアジア展開から中国、韓国、東南アジアにも普及が始まり、「門番」は、海外においても知られるようになり、築地市場に続き、豊洲市場でも大量採用され、オープンに伴い国内外の多くの人々の目に触れるようになった。

全国の自治体が導入する「やくも水神」

納入実績17万台の「門番」とともに、小松電機産業を支えるのが、クラウド総合水管理制御システム「やくも水神」である。

2000年、出雲市で採用以来、今では全国470自治体1万1500施設（18年10月現在）で採用されているが、

きっかけは、1985年3月に島根県佐田町（現・出雲市）へ納入した公衆回線による水管理システムだった。

「このシステムは科学技術庁の注目発明選定証をいただいたが、弱体な地方の中小企業が全国販売、保守をしていくことは難しく、大手の独壇場になった」と、小松氏は当時の状況を語る。

当時、自治体にとって上下水道は重要な社会インフラであり、全国的な市町村合併で複雑化した監視システムの見直しは緊急のテーマ。安価で信頼性が高く、広域化に適したシステムが求められていた。2000年沖縄サミットで発表されたe-Japan構想を受け発売されたiモード携帯、ドコモ閉域網、ゼンリン地図を組み合わせ、クラウドの先駆けとなった下水マンホールポンプ遠隔制御管理システムを小松電機産業は構築し、出雲市から全国展開を始めた。その後Googleマップ・スマートフォン・タブレット端末に対応したアプリを開発した。

また、11年には東日本大震災の福島県、計画停電の東京・町田市で絶大な効果を証明するなど、上下水道はもとより消雪・ゲート・カメラ監視・排水機場・アンダーパス等用途が拡大。「事例が増え、このシステムが技術者の育成、広域応援体制の確立に必要不可欠なことが広く知られるようになった」と小松氏。

さらにNHKをはじめ全国メディアにも多数取り上げられた。10年には池上彰氏司会のNRI未来開発フォーラム（東京国際フォーラム2500名）

での「やくも水神」紹介や13年、国交省成功モデルに上下水道すべてで「やくも水神」が導入された兵庫県多可町が指定され、福島県南会津町が水道イノベーション賞特別賞を受賞したこと、自治体に中央監視制御装置を置く時代が終わったことが広く知られるようになった。無償バージョンアップを続けた「やくも水神」による水イノベーションが確立したのである。

こうした成果に小松氏は「Global + IoT + AI + 5G」の時代を迎え、『日本縁結びの地』を『世界縁結びの地』にすべく、志を共にできる出会いを待っている」とも語る。

1994年に

「人間自然科学研究所」を設立

「門番」と「やくも水神」という大ヒット商品を故郷の八雲村（人口3800人）から生み出した小松電機産業は、1981年社是「社業を通じて社会に喜びの輪を広げよう」を定め、その後、経営理念「おもしろおかしくたのしくゆかいに」、経営方針「三方良し後利」を付け加えた。後に小松氏は、「欲求5段階説」で著名なアブラハム・マズローが晩年、5段階目の「自己実現欲求」の上に「自己超越実現」を置き、個人の利益を超えて広く人類や社会のために貢献できる課題や使命を持つて目的を達成しようとする欲求を置いたことを知り、社是、経営理念、経営方針はこの「自己超越実現」に合致していることを確認したという。

近年、企業の社会貢献CSV（共通価値の創造）、CSRが叫ばれるが、小松氏はこの先を行くCSXを提唱。人類の長い「対立の文明から共生の文化」へ移行できる「旗」を立てるチャンス wait っている。

書籍「魔法の経営」「天略」「母なる中海」「朝鮮半島と日本列島の使命」にも詳しく紹介されているが、1994年に小松氏によって設立された人間自然科学研究所は、戦後政治の変動期に起きた乱気流を追い風に、国家事業の中海干拓を中止に、また電電公社民営化を追い風に、お客様代表会議メンバーの立場を生かし、松江市他7町1村の電話番号統一を成し遂げた。

「最近ではクラウド・人の国家間大移動・核の時代の地政学を研究」という小松氏によれば、島根県の「竹島の日」制定、福島原発事故以後、世界最新鋭・日本最大「改良沸騰水型島根原発3号炉」の完成、朝鮮半島の激動を受け止め、沖縄、韓国、北朝鮮、ロシア、アメリカに知己を得てきたことを生かし、今年9月5日、松江市くにびきメッセで開催された「島根ものづくりフェア」で「21世紀の真のイノベーション」として6000人を前に大構想を発表。研究所のホームページにも掲載した。

長年に渡るこれらの活動により、小松氏は13年のオランダ・ハーグ市の平和宮100年記念式典で、ビル・ゲイツ氏などとともに「平和事業家、世界の20人」に選ばれた。そして韓国でテレビ「市民時代」、「英雄」、中国でも02年「人民中国」、05年「中央電視台」、

中華人民共和国駐日本国大使館ホームページ等のメディアで、その活動は広く紹介されている。

また、今年10月27日には日中友好条約締結40周年記念事業として「一隅を守り千里を照らす」小松昭夫経営の道「経営理念手帳」が北京・東方出版社から出版され、披露パーティーが開催されるなど、急速な国際的広がりをを見せている。

「人類の本質の洞察、社会問題の解析から、対立を発展に導く過程で生まれる『念』は『共生の文化』、創造の『核』。当事者意識が芽生えれば、眠っている才能が開花し、健康寿命が延び『共生文化』、創造の集団が生まれる時を迎えている」と小松氏は言う。

こうしたこれまでの軌跡は、小松電機産業と人間科学研究所のホームページにすべて公開されており、大学・大学院の実例研究対象として大いに注目されている。



小松電機産業株式会社
一般財団法人 人間自然科学研究所

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-188
TEL: 050-3161-2490
代表取締役・理事長：小松昭夫
資本金：1億円
設立：1981年12月（創業：1973年2月）
事業内容：シートシャッター happy gate「門番」、
総合水管理制御システム「やくも水神」の開発・製造・
販売業

「日本と原発」河合弘之監督の最新作

日本と再生

光と風のギガワット作戦



監督 河合弘之
(弁護士)

企画・監修 飯田哲也
(環境学者)

音楽 新垣 隆

エンディング
テーマ 坂本龍一

世界を駆動させるのは、
あふれる自然の力！

地球をひと回りして自然エネルギーの活況を見に行こう。
メインストリームはすでに原発でも化石燃料でもない現実を！
太陽、風、地熱、バイオマス etc. よくよく見れば、日本は資源大国！
地域も経済も再生させる作戦を開始しよう——。

太陽がいっぱい。風がいっぱい。
世界はもう、自然エネルギーで動いている！

3月21日 春分の日 水

場所 くにびきメッセ 小ホール

時間 13:30 ~ 17:00

参加料 500円 高校生以下無料
介助者1名無料

<第一部>

13:00 開場

13:30 上映

<第二部>

15:20 講演「自然エネルギーの現状と展望」

16:00 講演「八雲立つ日本・出雲から未来を拓く」

<第三部>

ベルタ・フォン・ズットナー像出発式

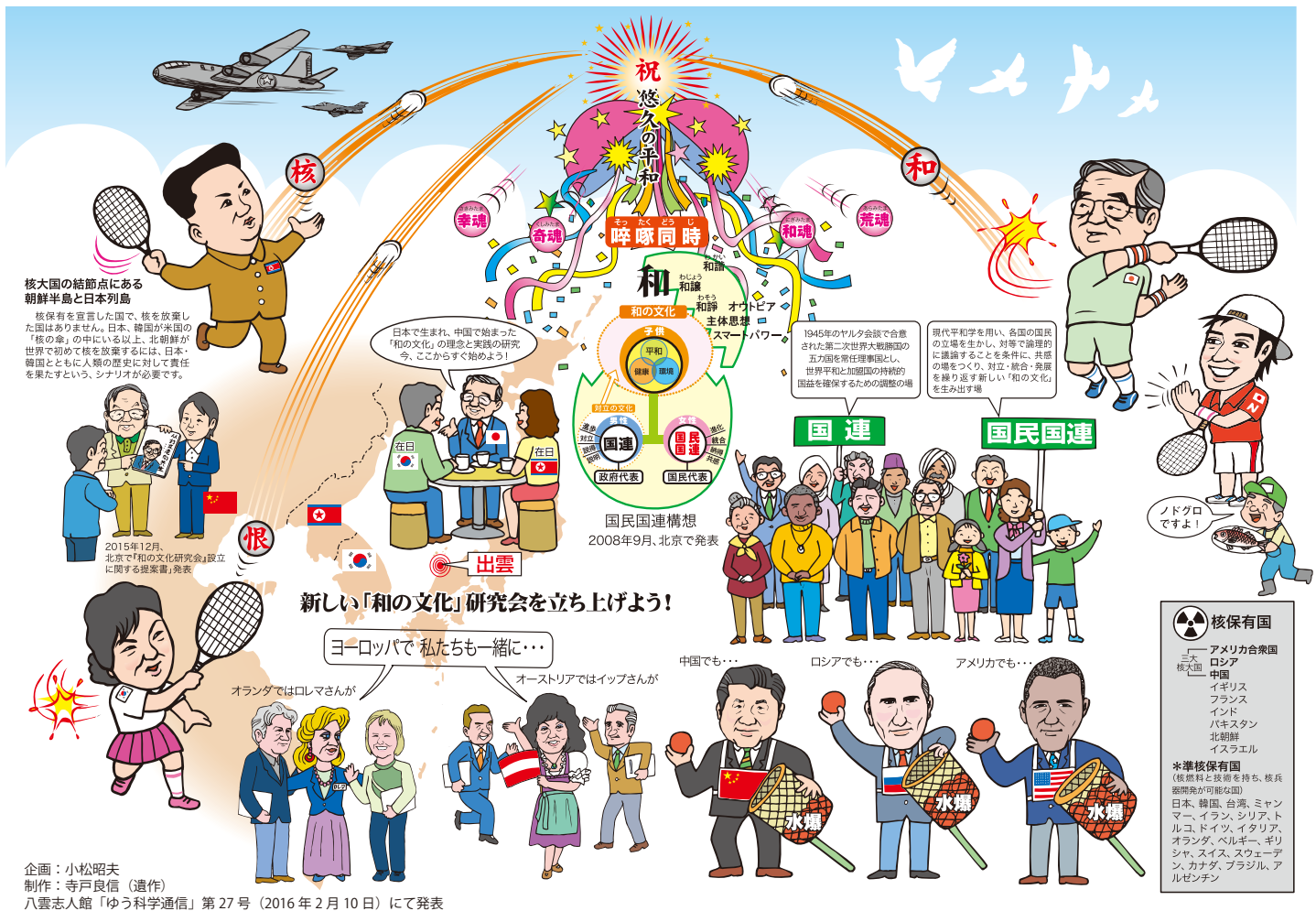


人間自然科学研究所

発注：カーネギー財団

制作：イングリッド・ロレマ

2017年 / 日本・ドイツ・メキシコ / カブーン・ステレオ / ヒストリカル・Kプロジェクト / ©Kプロジェクト



第二部

講演者プロフィール



いそえ きみひろ

磯江 公博

株式会社エナテクス常務取締役境港支社長

1952年鳥取県羽合町（現湯梨浜町）生まれ。青年海外協力隊入隊（モロッコ）、羽合町町会議員、羽合町助役を経て、現在、株式会社エナテクスで太陽光発電事業（追尾型太陽光発電の全国展開）に取り組む。



こまつ あきお

小松 昭夫

小松電機産業株式会社代表取締役
一般財団法人人間自然科学研究所理事長

1944年島根県八雲村（現松江市八雲町）生まれ。佐藤造機勤務を経て 1973 年創業。空間価値を生み出す「happy gate 門番」、IoT・クラウドの先駆け、水の総合管理システム「やくも水神」、「対立から共生の文化へ」の転換が生まれる平和事業（人間自然科学研究所）の3事業に取り組む。

第三部

ベルタ・フォン・ズットナー像出発

出雲から朝鮮半島へ！

女性初のノーベル平和賞受賞者・第一次世界大戦前のベストセラー小説『武器を捨てよ』の作者ズットナーの胸像（日蘭共同制作）が、「平和の特別使節」として、韓国・板門店めざして羽ばたく。



創作キルト作家 内藤和美「ゲルニカに会いたくて」

参加申し込み メール (staff@komatsuelec.co.jp) もしくは FAX (050-3161-3846) まで返信願います。

氏名	住所または団体名	電話番号	メールアドレス

問い合わせ先：人間自然科学研究所 八雲志人館 交易場（こうえきば） 080-3008-6808
主催 一般財団法人人間自然科学研究所 / 協賛 島根原発・エネルギー問題県民連絡会



(湯梨浜町)



イノベーション政策

政府は「主尊」より「対処」を

神里達博 かみ さと たつ ひろ

1967年生まれ。千葉大学教授。
本社客員論説委員。
専門は科学史、科学技術社会論
著書に「文明探偵の冒険」など

最近、「イ・エ・シヨ」といひ
言葉をよく耳にする。現政権におい
ても「イ・エ・シヨ」は非常に重寶さ
れており、「第三の矢」とされる
「成長戦略」においては、中心的な
役割が与えられてきた。

「イ・エ・シヨ」を起これば経済
は成長フロセに乗り、日本社会は
再び道氣を取り戻すはず。そんな
然とした期待が込められているよう
も思ひ。しかし、それは確かなこと
ならぬのか。

今月は、この概念の本来の意味を
確認した上で、近年の日本の「イ・
エ・シヨ」政策」について、少し考
えてみたい。

イギリスの元々、オーストリアの経済学者、エンペーターが19世紀前半に提唱した概念である。日本ではしばしば「技術革新」と訳されることが多いが、本来の語源は以下の通り。

1926年に出版された改訂版『経済発展の理論』では、大きく五つのテーマが示されている。まずは「新しい財貨の生産」。これは私た

えて「新しい生産方法の導入」や「新しい販路の開拓」といった製造工程ロスをやうにケツクに關する事項が続く。さらに「原料あるいは半製品の新しい供給源の獲得」や「新しい組織の実現」といった産業を支えるシステムや基礎について

の言及も見られる。
シュンペク・ター・ハ、これを「新
結合=neue Kombination」
と呼び、モノやコトの価値ある「新
しい結びつき方」を新機軸＝イノ
ベーションと定義したのである。
同様に皮肉、斬新な結合が生じる

いまで、旧来のような銀行が
歴史的に、そのような例は多々あ
る。馬車が自動車に取って代わら
れ、石炭が石油に切り替わり、最近
まで指摘してゐる。

では銀座「アルムのカヌカ」がテイク
ルカメには、いまやスゲー！
オンに付属するし、で写真は十
分、という声も聞くようになった。
しついった変革が起ると、目来
型の仕事に携わっていた人たちは抜
本的な対策を迫られる。そして現実

には、その多くが廃業に追い込まれてきた。このような厳しい側面を併せ持つのがイベシヨである。一方、その過程やメカニズムについての学術的研究もなされてきた。その結果、イベシヨを管理す

また、真に影響力の大きい人々
についてはいろいろ分けてきた。
事前の計画や設計ができる類のもの
の多くは不連続的な現象であつて、
クムを与えようとはすべくジヨウ
ンで来た。だが、社会に強くなつて
来たるための知識も、ある程度に蓄積して

一ムシハ、以下の如き物語を伴ひていふ。多數のバイオア、時に其莊僧の如くあるものは實業

を待たなければ、世間の冷たい眼
に、いかに努力を凝せる。そして
ついに成果を世に示す日が来る。人
々は驚愕し、世界が変わる——の
題の入り口——は当然、計画と設計
にはほゞまじない。

41112が、よんはてへーミョハ
 を日本政府が促進するところ。今し
 開放を思ふところ。

政府は、80年代半ばから95年までに「科学技術基本計画」を策定し、科学技術政策を長期的視野で進める仕組みを設けている。その4期目にある2011年の「基本計画」では、「自然科学のみならず、人文科学や

は社会政策の根拠も取らねばならない。科学技術政策に「ハベ」政策を加えて、関連する「ハベ」政策も幅広く対象に含めて、その一体的な推進を図っていくことが不可欠とし、これを科学技術「ハベ」政策と位置づけた。

ものだが、最近では産業政策、特に「ベンチャー」政策の手段のよつに科学技術政策が位置づけられることが目立っている。

「日本経済再生本部」のもとに置かれ、加えて閣議決定で設置された。SST(名称変更された。総合科学技術・イノベーション政策部)の中の一課として設けられた。「産業競争力会議」の、さらにその中の一課が、グループが

これを「官邸主導」と呼べば聞くと現象も起きていくといふ。CSSTIが対応するといふ、不思議な現象も起きていくといふ。CSSTIに対して「宿題」を出して、現象も起きていくといふ、不思議な現象も起きていくといふ。

て走る回つてゐるをすれば、問題
ではないか。

「さうだ、本物のイペーニョが起つては、それはしほは既存のシステムの破壊を伴つていふことも、思ふべきではない。」

かつての通商産業省は、石炭から石油へのエネルギー革命に対処すべく、石炭対策特別会計を設け、石炭産業を安定化させ、職業者の生活を守る上にも資を配った。

東起し、その勢をまた社会経済的の
 力を以て或かる一歩に達せられ、
 かの、徳川の如く、一政府は一
 一ノミへといひの難題は、其のい
 かにまで讀むるべきものは、
 度、格と着て見つめ直すべき時

原子力政策に住民意思を オーフス条約知って

松江、専門家が講演

環境に重大な影響をもたらす原子力政策などに住民意思を反映させる権利を守る「オーフス条約」に詳しい大阪大学大学院法学研究科の大久保規子教授(55)が環境法Ⅱがこのほど、松江市内で講演し、日本が条約未加盟である現状を紹介し「参加が必要だと国民から声を上げる取り組みが必要だ」と訴えた。

オーフス条約は、公的機関の情報を知る権利や、事



業決定過程への国民の参加権などを保証しており、欧州を中心に47カ国が加盟する。大久保教授は、日本が未加盟と知った海外関係者が「日本は民主国家ではな

かったのか」と驚いた逸話を紹介。海外では、環境団体が事業計画に意見を述べる作業が重んじられ、会合参加の旅費や、意見集約に必要なスタッフの件費の助成もあるとし「日本ではオーフス加盟の是非すら話題になっていない。条約を知り、声を上げてほしい」と求めた。

聴講した米子市錦町1丁目の団体役員新田ひとみさん(68)は「存在を初めて知った。日本の対応の遅れを感じた」と話した。講演は島根県弁護士会が開き、約60人が耳を傾けた。

(陰山篤志)

2018年7月28日 山陰中央新報掲載

「時代逆行だな…」と新聞紙面に悪態をついたのは5月下旬、中国電力が建設中の島根原発3号機(出力137万3千ワット)の稼働に向け、島根県と松江市に審査申請の了承を求める事前了解願を提出したという記事を目にしたからだ。実は「安全審査」とは名ばかりで、申請先の原子力規制委員会は新規制基準に適合するかを判定することしかせず、かねて安全を保障するものではないと自ら明言している。

東電福島原発事故から7年余、再稼働した原発は9基あるが新規に稼働した例はない。ただ申請を後押しする意図もあるのか、原発所在地の全国市町村協議会は先般の定例総会で、原発の新増設や建て替え、核燃料サイクルの将来像を示すよう

3号機は脱原発記念碑に

国に要請。参加自治体からは「電力の安定供給や温室効果ガス削減のため原発は必要」など、カビの生えた妄想のような声しか聞こえないのが日本の現状である。

海外では原発大国スウェーデンが最近、2040年までに再生可能エネルギーで全電力需要を賄う目標を掲げた。太陽光などの劇的な発電コスト低下を受け、同様の転換を図る国々が目立つ。反対に地震活動期に入った日本列島での原発新規稼働は、過酷事故のリスクだけでなく、いったん運転すれば将来の廃炉、膨大な汚染除去に多大な出費が付きまとう。周回遅れの3号機は、世界唯一の脱原発記念碑に転用するのが上策だ

と思う。

(松江市・風来)

世事抄録

2018年8月2日 山陰中央新報掲載

出雲神話と医薬・看護

古代出雲は医薬・看護発祥の地



出雲大社本殿天井の八雲の絵模写

八雲立つ出雲八重垣妻ごみに
八重垣作るその八重垣を

須賀神社 和歌発祥の地

島根大学学長
小林祥泰

地域イノベーション創出2012 in しまね 2012年9月13日

出雲神話

大国主命と因幡の白ウサギ



絵: 青戸 慧(安来市)

ワニザメに皮をむかれて赤裸。兄神達が海水で洗って風にさらしたので更に悪化。大国主命は真水で洗ってガマの穂の上で寝るように指示し回復。

生薬名: ほおう 蒲黄(花粉)



「稻羽之素菟」(『古事記』)のうち素菟(素兎)が正しい。本居宣長は『古事記伝』で裸兎と記。野生のウサギの場合、ガマの開花期に白い冬毛になることはない。

止血、利尿、通経に煎じて服用。
傷口や火傷に直接散布し
収斂性止血薬としても用いる。

蒲黄の解説 漢方生薬辞典



収斂止血	
蒲黄	
② Typhae pollen	②
ガマ科ヒメガマなどの花粉	
	
四気	平
五味	甘、辛
帰経	肝、心、脾
薬量	3～12 g
●効能と主治	
◎経絡を引き締めて止血する(収斂止血)	
・あらゆる種類の出血。例えば外傷による出血、子宮出血、吐血、咯血、鼻血。	
◎血を巡らせて瘀血を散じる(活血化瘀)	
・瘀血による月経痛、無月経、産褥期の出血と疼痛、心症、重度の胃部痛、出血を伴うこともある排尿痛。	
・血による胸部と腹部の疼痛とそれに伴う月経	

3

大国主命が大やけどで瀕死 助けた女神が看護師の元祖



ヤカミヒメに振られた兄神の仕返しで焼けた石を猪と言って捕まえさせたので大火傷。母神の依頼でキサカヒメ(赤貝)とウムギヒメ(蛤)の治療で回復。(赤貝の貝殻の粉を蛤の汁で練って皮膚に塗った)(古事記)

山陰地方では火傷などの特効薬とされ『八上薬』といわれている。

タウリンとキチン、カルシウムの作用か(現在もキチンが創傷保護材として火傷治療に用いられている)

大火傷では、抗酸化作用のあるタウリンが尿から大量排泄されて不足

殻の炭酸カルシウムは抗炎症、冷却作用

4

5

支佐加比売命(キサガイヒメ)を祀った加賀神社 その子の佐陀大神を祀った佐陀神社



加賀神社

佐陀神社の祭神はキサガイヒメが加賀の潜戸で生んだ佐陀の神

天孫降臨の際、光で照らして案内した道祖神の猿田彦(天狗、シルクロード系渡来人)と同一ともされる。後に天の岩戸で天照大神をストリップで誘い出したアマノウズメと結婚したという説もある。



佐陀神社

出雲三大社(出雲大社、熊野大社、佐陀大社)神在月には佐陀神社にも神々が滞在
佐太神社の神在祭は文献上もっとも古く、且つ祭の次第も約500年前の記録とほぼ同じ内容。
これはキサガイヒメは出雲で大変重視されている神であることを意味している。
(佐陀神能)がユネスコ無形文化遺産)

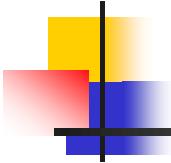
7

少彦名神(大国主命のブレン)

- 小さなガガイモの実(やまかがみという出雲国風土記にある薬草)の舟に乗って蛾の皮を剥いだ服(羽の生えた)を着た小さな神様(鳥人)がやってきて、大国主神と共に国作りを行った。
- **大国主命に教えたのがくえびこ(案山子の神)**
島根医大当時から学園祭はくえびこ祭
- 少彦名神は渡来系の医薬、農業に通じた神で温泉を開いた神でもある。別府温泉や道後温泉も少彦名神が発見したとされる。
- 鳥人: 古代中国の名医「扁鵲」
(人頭鳥身の絵が画像石に残されている)



内藤記念くすり博物館



出雲国風土記と薬草

- 全国最多の61種の薬草を記載

播磨国風土記では7種、常陸国風土記では2種のみ
延喜式の典薬寮に貢納された薬草でも53種

この中で10回以上記載されているのは烏喙(うかい)

これは烏頭(うず)、附子、天雄(三寸以上)と同じ。

平安初期まではトリカブトの和名は「於宇」

出雲の於宇(意宇)郡が弥生時代の中心地(医術)

古代では日本の医薬のナンバーワンは出雲

大和朝廷時代にも厚生省は出雲の臣が担当



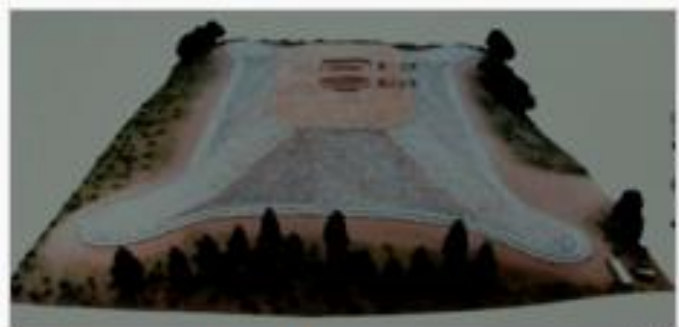
大同類聚方(最古の和方辞典)

- 平安時代初期の大同3年(808)、中国医学の流入で崩壊の危機に瀕していた日本固有の医方を保護するために平城天皇の命を受けた安倍朝臣真直と侍医の出雲連広貞らによって編纂されたわが国最古の勅撰医薬処方集である『大同類聚方(だいどうるいじゅほう)』(100巻)には、出雲関連の神々、国造家等の伝承薬が100方以上も記載され他を圧倒している。

四隅突出型墳丘墓

- 四隅突出型墳丘墓は、方形墳丘墓の四隅がヒトデのように飛び出した特異な形の大型墳丘墓で、その突出部に葺石や小石を施すという墳墓形態である。弥生時代後期の能登半島や美作・備後の北部地域や出雲（島根県東部）・因幡（鳥取県西部）を中心にした山陰地方に見られる墳丘墓である。

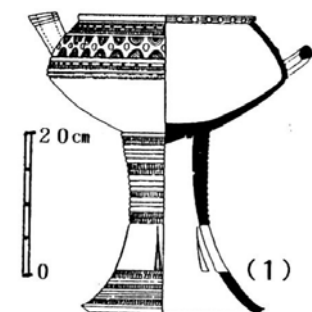
西暦100-200年代



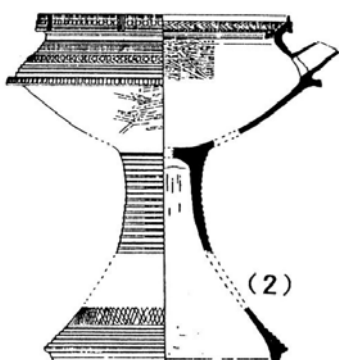
西谷3号墓復元模型

11

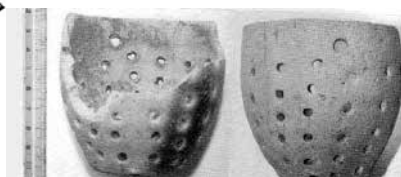
四隅突出型古墳から出土した 謎の注口土器



漢方薬を煎じる
強い酒を造る等
医薬製造用？



小形多孔土器



トリカブトの減毒等
に用いた可能性がある



12

26

「意宇」はトリカブトの「於宇」

- 「意宇」は実はあの有名な毒草トリカブトの古代名「於宇」でもある。醍醐天皇勅命で918年に編纂された「和名本草」に「烏頭、烏喙、天雄、附子、側子、已上五種和名」とある。すなわちトリカブトの部位などによる名称を総称して於宇としている。トリカブトは漢方では極めて重要な薬草である。この猛毒を減毒して薬にするのは当時の先進技術であり、中国伝来のこの技術を持ったハイテク医薬人集団がいたことから意宇郡と名付けられたと推測される。

13

松江の熊野大社の前を流れる意宇川



古代出雲ではこの一帯が
医薬の先進地域
於宇(トリカブト)を治療に
活用する技術集団がいた
ので地名になったと推測される



27

華岡青洲通仙散処方

生薬名	分量
蔓陀羅華	八分
草烏頭	二分
白芷	二分
当帰	二分
川芎	二分
南星炒	一分



通仙散に熱湯を加えさらに煮立て服用。
ヒョスチアミン、アトロピンは加熱されると
スコポラミンに変化し効果を発揮。
中枢抑制作用はスコポラミンが最強
痛仙散麻酔の症状(外科起瘡)
「頻脈、動悸、口渴、発赤、瞳孔散大、
発熱、譫言、盲動の後意識がなくなる」

蔓陀羅華

白芷



草烏頭



当帰



南星炒



川芎



15

写真4『通仙散』の材料となった蔓陀羅華以外の五種類の薬草

島根大学医学図書館に華岡青洲資料 大森文庫(700点以上で多分日本一)

島根に息づく華岡流医術

出雲・島大付属図書館分館



江戸時代後期、世真初の全身麻酔となる乳がん手術を成功させた外科医・華岡青洲(入門した旧母里藩(現・安来市)の医師が残した史料)を通じて島根の医学史を紹介する企画展「島根に息づく華岡流医術」が、島根大学付属図書館分館で9月15日まで開催される。入場無料。

乳がん手術の手順や成果を克明に記載した日記などが並ぶほか、史料を基に島根の医学史を分かりやすくまとめた解説パネル二十二点も併せて展示している。

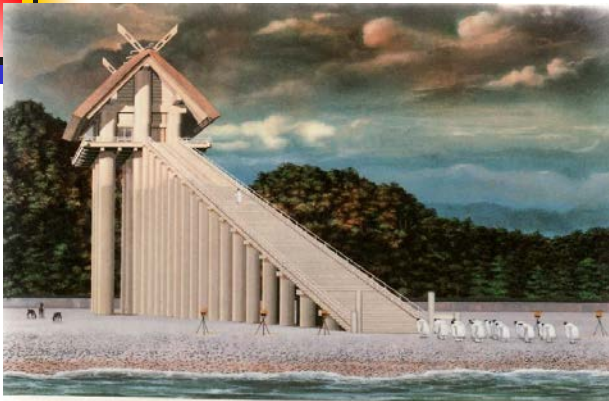
梶谷光弘先生が現代文に訳し解説
一部を出版



16

28

古代出雲大社と島根半島地形変化



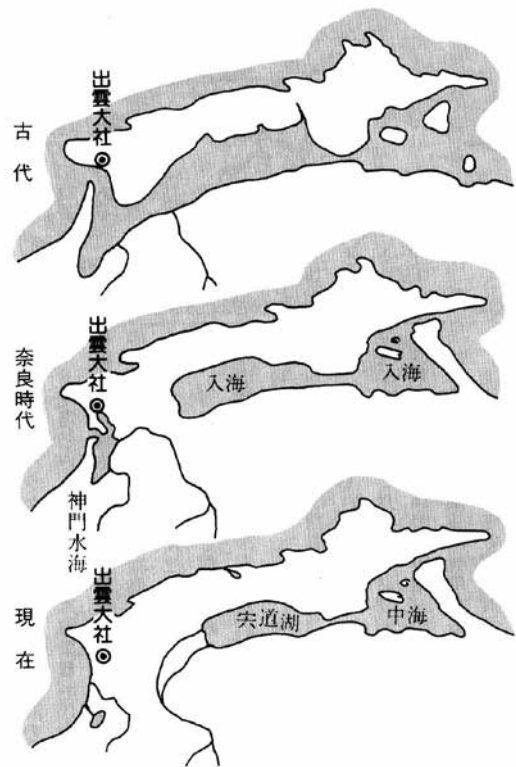
いま解き明かす

出雲大社の謎

山崎 謙

平安時代：雲太和二京三

古代出雲王国が造ったものは
灯台も兼ねたシンボルタワーであろう
大和朝廷が新規に造ったのではなく
これを復元した可能性が強い(山崎 謙)



17

地域イノベーション創出に向けて

産学官連携で切り開く地域の未来

産学官連携 「出雲文化研究コンソーシアム」設立

- 古代薬草の産地を復活
- 古代出雲文化が栄える基礎となった海流、地質地形、汽水湖、気候などの好条件
島根半島を陸続きにした国引き神話も含めて島根ジオパーク構想へ
- 島根大学出雲文化学際研究ネットワーク開設
- 学部の壁を超えた医理工農連携研究
学際副専攻で卒業研究

18

29

アジア初演100年の歓喜とともに! ～第九の聖地 徳島へ～



世界に広まれ!
とくしま“歓喜の歌”プロジェクト

ベートーヴェン「第九」演奏会で
指揮する秋山和慶
(平成29年2月12日アスティとくしま)
写真:大窪道治

ベートーヴェン「第九」演奏会

音楽監督・指揮/秋山和慶 演奏/とくしま記念オーケストラ

独唱者/ソプラノ 吉田珠代 アルト 小野美咲 テノール 清水徹太郎 バリトン 町 英和

合唱団/世界に広まれ!とくしま“歓喜の歌”合唱団

[演奏曲目] ベートーヴェン/交響曲第9番ニ短調作品125「合唱付き」

平成30年 **2月12日** [月・振休] 開場13:30 開演14:00

会 場/アスティとくしま多目的ホール 徳島県徳島市山城町東浜傍示1番地1

●入場料/[全席指定] 一般 2,000円 高校生以下1,000円 (当日各500円増)

未就学児の入場はご遠慮ください。開演時刻を過ぎての入場は所定のお席にご案内できない場合がございます。

●チケット販売先/ローソンチケット **Lコード 62259** ●販売開始/平成29年12月20日(水)から

前売券が完売となりましたら、当日券の販売を行いません。

なんと第九とは・・・

1918年6月1日。徳島県鳴門市にある板東俘虜（ふりょ）収容所でドイツ兵捕虜によって、ベートーヴェン「第九」交響曲がアジアで初めて全曲演奏されました。

初演の背景には、収容所所長である松江豊寿をはじめとする、職員の捕虜に対する人道的な処遇や、捕虜と地元民との国境を越えた心温まる交流など、まさに「第九」が持つ人類愛の精神を体現した史実がありました。

その精神は現在でも市民を中心に受け継がれ、毎年6月第一日曜日に開催している「第九」演奏会をはじめ、ドイツ・リュネブルク市との姉妹都市交流、友好のコスモス交流など、多くの活動が行われています。

「第九」アジア初演。またその背景にある戦争の最中、国境を越え育まれた友好の絆。そして今なお鳴門市民に引き継がれている「第九」やドイツ兵捕虜が残してくれた財産。

これらが、「なんと第九」の原点であり、他の「第九」にはない鳴門市固有の財産であるとともに、こうした背景を持つ「なんと第九」は、鳴門市から世界に発信すべき誇りでもあります。

「第九」への熱い願いを込めた宣言文

全国の「第九」を愛する皆さん！

私たちは長い間、それぞれの市や町でその歴史や文化に根ざし、「第九」を歌ってきました。今や、全国での「第九」の演奏は毎年200回を超え、世界に誇るわが国最大の文化イベントになっています。

我が国における「第九」のルーツは、1918年（大正7年）徳島県の鳴門市におけるドイツ人捕虜による演奏にあります。

現在、鳴門市の誇る財産となっている「第九」は、市民の英知と熱意で復活され、その後全国の「第九」合唱団との交流によりさらに発展し、1989年（平成元年）には『全日本「第九を歌う会」連合会』が組織され、その活動は日毎に高まりをみせております。

私たちが心から愛する「第九」には、高い音楽性の中に平和、友情、人類愛が歌われ、苦難に満ちた現代国際社会の中にあって、夢と希望を持って今を生きようとする人々に贈られたF. シラーからの励ましであり、人間賛歌であります。

21世紀という新しい時代を迎え、私たち連合会は、この限りなく素晴らしいベートーヴェンの「第九」を歌う輪がさらに大きく拡がることを願っています。

全国の「第九」を愛する皆さんのご参加を心からお待ちしています。そして、共に人類愛と国際平和の実現を力強くアピールしていきましょう。

2001年6月3日

第一次世界大戦から始まった鳴門市とドイツとの交流

1914年（大正3）年に起きた第一次世界大戦。我が国は日英同盟の関係からドイツに宣戦布告をし、ドイツ兵約5,000人が守る中国・青島を陥落させました。

約4,700人のドイツ兵捕虜が日本に送られ、当初東京から熊本までの12ヶ所に収容されました。その後、収容所は6ヶ所に統合されることとなり、四国の松山（愛媛県）、丸亀（香川県）、徳島（徳島県）の3つの収容所は、新設された板東俘虜収容所（現徳島県鳴門市）にまとめられました。

1917（大正6）年、突然現れた新しい施設と、約1,000人の敵国ドイツ兵捕虜に地元民は驚かされました。

しかし、もともと四国88ヶ所霊場の一番札所がある土地柄、「お接待」を重んずる風習があり、「ドイツさん」と親しく接するようになりました。

これにドイツ兵捕虜も応え、当時としては進んでいた、畜産や製パンなどの産業指導、スポーツ指導や芸術指導などを行ったほか、ドイツ兵捕虜が設計し、地元の大工とともに牧舎を建設したり、地元民の生活を便利にするため、橋を建設するなど戦時中とは思えないような交流が鳴門市では行われました。



板東俘虜収容所全景



板東俘虜収容所入口

1918年6月1日。「第九」アジア初演の日。

そして1918年6月1日。板東俘虜収容所内にて、ヘルマン・ハンゼン指揮の徳島オーケストラと合唱団がベートーヴェン「第九」交響曲をアジアで初めて全曲演奏しました。

残念ながら、収容所内で演奏されたため地元民はその演奏を聴くことができなかったようですが、当時「音楽の殿様」と呼ばれ、戦前の西洋音楽のパトロンとして大きな役割を果たした徳川頼貞は後に彼らの演奏を聴き、大きな感銘を受けたと言われています。

戦時中にもかかわらず、“alle Menschen werden Brüder = すべての人々は兄弟になる”という世界平和や人類愛という普遍的なテーマを持つ「第九」が演奏されたこと。そしてドイツ兵捕虜と収容所職員・地元民が国境や人種を超えてこれを体現したことは、まさに異例でした。



アジア初演となった「第九」演奏会のパンフレット

2018
10月27日

中国北京市／東方出版社

日中友好条約締結 40 周年記念 新書出版発表会

一隅を守り千里を照らす

小松昭夫の経営の道

経営理念手帳

10月27日に北京で開催された出版発表会・日中友好条約締結40周年記念会で、日中友好な企業の経営者のほかメディア9社など、30数名にご参加頂きました。



一般財団法人

人間自然科学研究所

<https://www.hns.gr.jp/>

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町 735-188
TEL: 050-3161-2490 FAX: 050-3161-3846

無断転載禁止

No reproduction or
replication without written
permission.

ver.20181124